

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和4年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	52-2111	代表者	日向市長 十屋 幸平
名称等	名称	株式会社 日向サンパーク		所在地	日向市大字幸脇303番地5		
	設立年月日	平成14年1月8日		電話番号	TEL: 0982-56-3800 FAX: 0982-56-3805	ホームページ アドレス	http://ww2.wainet.ne.jp/~sunpark/
資本金	50,000千円	設置目的	市民の憩いの場及び健康増進施設	事業(業務)内容	道の駅・オートキャンプ場・体育施設の経営・管理・運営		
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	職員給与総額 (千円)R3年度
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R3年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	
	7	2	0	4	0	51	30,567
第三セクターへの関与の状況	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
		R元	R2	R3			
	① 運営補助金	3,394	71,093	6,694	道の駅日向の管理委託料、指定管理者経営継続助成金		
	② 指定管理料	34,599	19,276	11,735	オートキャンプ場及び体育施設に係る管理料		
	③ 貸付金	25,000	83,549	0			
	④ その他(損失補償金)	0	18,391	0			
	合計	62,993	192,309	18,429			
	・短期貸付金残高	0	0	0			
	・長期貸付金残高	0	58,549	52,694			
	合計	0	58,549	52,694			
(2)人的支援(人的関与)	出資割合(92%)から市長が代表取締役社長に就任している。副市長が取締役に就任している。						
(3)その他の取組 (その他の課題)	・指導・監督の強化 ・情報の公開	第三セクターに関する方針策定 日向サンパーク温泉改革プランに基づく点検・評価結果の公表					
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)		取組結果	点検・評価		
	経営形態見直し策	施設別経営状況の明確化による経営改善対策。施設別に決算書を作成、施設別の収支を明確にする。		現在、年度毎、月毎に施設別に決算書を作成しています。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設別の決算書の作成は、各営業部門の経営改善に大変役立つ取組だと思います。 月次試算表の分析や活用も企業として有効であることから、これらの情報を定期的に社内で共有し、意見交換を行うなど、業務の改善に取り組んでいただきたいと思います。		
	経営体制強化策	会社の経営状況を社内で共有することにより、経営参画意識の向上に努める。		各施設の長、副館長、係長、主任に朝礼やミーティングを通じて、その他の社員には業績状況の回覧を渡し、経営状況等の情報を共有化し経営参画意識の向上に努めました。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 朝礼等による社員の経営参画意識の向上への取組は評価できます。 今後は、情報共有だけでなく意見交換等を行うなど朝礼の質を向上させ、社員の意見を取り入れた経営改善、体制強化に取り組んでいただきたいと思います。		
	収入増加確保対策	詳細な事業計画・収支計画を検討した上で、団体客の誘致や、企業の福利厚生施設としての利用、各種イベントの実施等で費用対効果の高い集客増を図り、収益増加・確保に繋げる。		年度を通してコロナ禍の状況にありキャンプ場体育施設は断続的に休業を強いられ、団体客や企業の利用がありませんでした。 その中でも感染が落ち着いた11月には、道の駅出荷者協議会によるイベントを開催する事ができ、経費を掛けずに集客増に繋がりました。 更に、他企業からの支援により年末にかけて宅急便送料キャンペーンを1ヶ月程行ったことや、国や県、日向市の旅祭りキャンペーンへの参加、その他日向市の新成人に対する商品贈呈企画に参加させて頂いたことで多くの発送注文を頂いたこと等が収益増加に繋がっていると思われまます。 また、物産館の出荷者協議会の手数料率の契約を改めて収益を向上させました。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった コロナ禍でも出来ることに積極的に取り組み、一定の業績を上げられたことは評価できます。 一方で、独自サービスの粗利率の向上やふるさと納税の利幅拡大が課題だと思います。 また、住民のデジタル活用が格段に進む中、ネット販売等への取組にも力を入れていただきたいと思います。 さらに、ポストコロナを見据え、大型遊具やドッグランなどの新たな魅力を最大限活用していただき、マイクロツーリズムからインバウンドにも対応できる観光施設として、強みを明確化した経営戦略を展開し、利用者が特別感を感じられる取組を期待します。		
	オリジナル商品・メニュー等の開発	(株)日向サンパークオリジナル商品やメニュー、企画の開発研究と販売に努める。		道の駅出荷者協議会の会員や出入業者と一緒に季節ごとに新たな商品を出品して頂けるように開発販売に努めました。 特に、日向特産へべすを使用したお菓子や餃子などの加工食品の販売に力を入れました。宮崎県の道の駅駅長会で開発した新商品も毎年販売投入し好評を得ています。道の駅とキャンプ場のパーベキューセットは内容をリニューアルし、お客様に人気です。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 季節を感じる商品や地域性のある商品をアピールされていることは評価できます。 常に観光客等のニーズやトレンドを把握し、収益性のある新商品、看板商品の開発を進めていただきたいと思います。 さらに、新商品が地元で加工されたものであれば希少性が高まるため、この部分にこだわることも重要です。 地域経済を循環させるための起点となる取組があると、道の駅としての価値が高まると考えます。		
情報発信	ホームページの更新、リーフレットのリニューアル		ホームページは定期的に更新しています。リーフレットは年度後半に大型遊具やユニバーサルエリア、ドッグランが新たにオープンしたことから、現在内容を検討し作成中です。 その他、新商品、季節商品が入荷した度にSNSを活用した情報発信も行っています。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった ホームページについては、オートキャンプ場中心の情報となっており、掲載する情報の検討とともに、他団体等とのリンクの確認や適切な情報更新等、早急に対応すべきと思われます。 大型遊具施設等の整備や期間限定のキャンペーンなどの新しい観光コンテンツは、SNSや情報番組、観光雑誌等を活用し、タイムリーに魅力発信を続ける必要があります。 特に、SNSの活用は、大きな影響力があるため、最重要の取組であると考えます。 また、情報発信においては、「〇〇の仕組みがあるから来てもらう」という機能価値中心の発信ではなく、貴社のブランドイメージの明確化を図り、日向サンパークへの共感性・期待値を増幅し「道の駅が好きになる」という情緒価値を高める視点での発信が必要です。			
利用者アンケートの実施	アンケート調査により利用者のニーズや施設や経営に対する改善点を抽出する。		道の駅日向とオートキャンプ場にアンケート調査用紙を設置して、年代や来られた地域、ご意見ご要望などをお聞きし、業務や施設の改善、サービス向上に努めています。回収したアンケート用紙は施設別に総務スタッフに回収し共有しています。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 利用者がアンケートに答えると特典があるPRを兼ねた取組のほか、ホームページやSNSを活用し「道の駅等を利用しない層」の情報収集(アンケート)にも取り組んでいただきたいと思います。 また、アンケートの意見やそれに対する改善策・対応策を公表するなど、アンケートが利用者や潜在顧客とのコミュニケーションに有効であるという視点を持っていただきたいと思います。 利用者目線での運営に心がけ、リピーターや新規利用者の確保に努めてください。			

社員の資質向上	各社員の能力を向上させることにより、営業経費の低コスト化、短時間での対応、高品質なサービスの提供を目指す。	コロナ禍により民間の研修会などが開催されないケースが多く、社員の資質向上を思う様に図れませんでした。市による各検討会などに分担して出席し施設運営に活かしました。また、社内の業務の見直しや改善を行い営業経費の削減を行いました。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 社員に対し「社員教育を充実させる」というアナウンスを出し続けることは大切だと思います。 WEB研修の導入も検討していただきながら、接客などのスキルアップ研修、県外研修への参加や他の道の駅への現場実習は定期的を実施することで効果が表れると思います。 加えて、出荷者とのグループミーティングを行うことにより、消費拡大はもとより、出荷者の出荷先の拡大や商品の品質向上に繋がる可能性があります。 引き続き、社員や出荷者を含めた課題共有や改善のための意見交換に積極的に取り組んでください。
契約の見直し	業務委託や物品購入については、業務内容や契約内容の見直しを随時行い、入札制度を用いる等、経費の削減に努める。	キャンプ場、体育施設の場内管理においてスタッフが使用する機械や道具を共同使用としたことや、電気会社の契約変更を行ったことで経費の削減に努めました。また、温泉館で使用していた備品類を出来るだけ使用することにより物品購入費を抑えました。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設を一体としてとらえた効果的な経費削減に取り組まれていると思います。 大変厳しい状況であると思いますが、今後も効率的な管理を検証しながら経費削減に努めていただきたいと思います。
物件費の節減	省エネ対策(節電)・水道使用料(節水)を実践し、経費の軽減を図るほか、全ての経費について節約に努める。	施設内の使用していない冷凍冷蔵庫や照明などをこまめに切る事により節電対策に努めたことや、給湯器の設定温度を下げることでガス代の削減に取り組みました。また、新電力会社より安い九州電力に契約を変更し経費の削減を行いました。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 新たな調達先を検討する際にはリスク調査を入念に行う必要があります。 原油高騰、物価高の中で電気料金等の経費が増加することも見込まれますので、顧客第一の視点を忘れず、継続した物件費の削減に取り組んでいく必要があると思います。
人件費の抑制	各部署の職員体制並びに勤務体制等を検討し、効率的な人員配置と経費抑制に努める。	就業時間の7時から8時間の変更によって、物産館の勤務時間を細かく分けて見直しを行い効率よく人員配置が行えるようになりました。 また、施設長が物産館長を兼務することにより1人分の人件費を削減しました。短時間のアルバイト職員の雇用や、パート社員の時間短縮を行い経費抑制に努めました。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 就業時間に合わせた弾力的な人員配置が可能となるよう見直しが行われ、効果が出たことは評価できます。 引き続き、社員の就業意欲が維持できるよう給与体系の構築や人員配置に努めていただきたいと思います。 また、採算性を考慮しながらも、利用者へのサービスを第一に業務の効率化と働きやすい環境づくりに取り組んでください。
市による財政的なリスク対処のための具体的な取組	アンケートの実施	サンパークの改善事項を把握し、信頼される会社経営に向けて取り組む。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった より愛される観光施設を目指し継続していくために、普段施設を利用しない客層も含めた幅広い意見をアンケート等で集約すべきであると思います。 ドッグランやオートキャンプ場などの屋外施設を活かした新たな需要への対応とあわせ、衛生面、施設管理面、ペットを苦手とする客層との共存などは研究する価値が高いと考えます。 アンケート結果は、分析・改善策の検討を行うほか、その結果を公表するなど十分に活用し、施設管理者との連携強化を図りながら、利用者のニーズに応える施設づくりに努めていただきたいと思います。
	効率的な経営環境の整備	利用者ニーズや経営体制等を考慮しながら、効率的・効果的な営業形態がとりやすい環境を整備するため、条例等の改正や各種計画への位置づけを行う。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設整備後の誘客による観光消費の拡大、地域経済の活性化が最大の目的になると思います。 誘客方法については、アンケートや研修のほか、外部有識者・専門家の意見を取り入れながら、いかに利用者の満足度を上げて周辺施設に効果を波及させていくかという視点で研究し、取り組んでいくことが必要だと思います。 また、さらなる情報発信の強化にも努めてください。
	修繕計画	施設の修繕計画を策定するとともに、予算の確保に努め、定期的に点検しながら計画に沿った更新に取り組む。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設の老朽化も進む中で利用者の安全・安心及びニーズに応える施設管理に努めていただきたいと思います。 また、持続可能な施設の在り方について、公共施設マネジメントの視点での検討に取り組むとともに、修繕等については、優先順位を整理しながら、クラウドファンディングなどの市民参加の手法の研究が必要だと考えます。
	適正な契約	指定管理者制度による協定と業務委託契約を精査し、適正な契約内容と経費を確立し、管理責任の明確化を図る。	<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 温泉館の休館、アフターコロナに向けた収益構造の変化についての確かな見通しを立てるとともに、今後の観光トレンド等も見極めながら、サステナブルツーリズムを目指していくためにも、改革プランの着実な実施や関係機関との連携に取り組んでいただきたいと思います。

財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			項目	金額(千円)						
			R元	R2	R3		R元	R2	R3				
		資産合計	21,041	27,899	29,037	経常収益	384,317	286,320	171,254				
		負債合計	87,598	73,435	73,281	うち市からの補助金・委託料	40,035	101,491	18,848				
		資本合計	△ 66,557	△ 45,536	△ 44,244	経常費用	393,819	260,144	175,137				
		累積欠損金	△ 116,557	△ 95,536	△ 94,244	経常利益(損失)	△ 9,502	26,176	1,501				
						当期利益(損失)	△ 9,710	21,021	1,292				
指標関係	成果指標(数値目標)		R元実績	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標	R5目標					
	財務指標	流動比率(%)	25.65	150.62	100以上	96.58	100以上	100以上					
		損失補償	0	0	0	0	0	0					
		短期貸付金	25,000	25,000	0	0	0	0					
		経常利益	△ 9,502	26,176	13,061	1,501	14,325	15,589					
	活動指標	利用者数(人)	374,389(221,320)	161,885	230,000	134,901	231,000	232,000					
		温泉館客単価(円/人)	702	-	-	-	-	-					
		物産館売上額(千円)	224,943	162,778	208,000	154,727	212,200	216,300					
		オートキャンプ場	コテージ	22.5	13.8	32.3	12.4	33.2	34.0				
			ログハウス	14.0	10.2	18.9	9.8	19.7	20.5				
稼働率(%)		9.3	8.6	8.2	6.0	8.4	8.5						
財務・活動・成果指標取組結果	<p>利用者数は令和2年度と比べ26,984人減少しました。これは令和2年度に温泉館の利用者数が含まれていたためです。現在の施設別では、道の駅日向物産館が2,948人の増、オートキャンプ場が614人の減、体育施設が714人の減となり目標数を95,099人下回りました。</p> <p>財務状況としても売上高で前年比△28,537千円となっています。こちらも前年の温泉館の売上げが含まれていたためです。営業利益につきましては、温泉館を休館したこと大幅に経費が削減され△3,882千円となり、前年度比55,945千円の増となりました。しかしながら国のまん延防止重点処置支援金や県の事業者緊急支援金、日向市の中小企業支援給付金、指定管理者経営継続助成金等により当期純利益が1,292千円となりました。</p>												
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	<p>温泉館の休館や大型遊具、ドッグランの設置という点で、事業環境には大きな変化がありました。</p> <p>今後、売上増加や収益力向上を図るために、マーケティングやブランディングの研修、「道の駅等を利用しない層」の意見を集約する取組の工夫も必要だと思います。</p> <p>また、リニューアルされた施設については、積極的な情報発信が見られなかったため、改善に取り組んでいただきたいと思っています。</p> <p>今後も社員一丸となって、利用者のニーズを常に把握しながら分析・検討をしていただき、さらなる集客や収益化に向けた商品開発やイベント等の立案、情報発信、研究等に努めていただきたいと思っています。</p>												
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	B	⇒	A 経営努力を行いつつ事業は継続	⇒	B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要	⇒	C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要	⇒	D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要			
第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見	市	今後の方向性	I	⇒	A 経営努力を行いつつ現状のまま存続	⇒	I 事業内容等の見直しを行った上で存続	⇒	ウ 再建を行いつつ存続	⇒	エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡	⇒	オ その他()
		今後の取組について	<p>令和3年度に整備された、大型複合遊具や低年齢層や障がい者に配慮したユニバーサル遊具エリア、またそのエリアの周辺に健康器具を整備したことで、「日向サンパーク」並びに隣接する「道の駅日向」にも誘客の向上が図られている現状があります。</p> <p>また、オートキャンプ場内に整備されたドッグランも、オープン時には、約300頭の利用がありました。今後は安定した利用者の確保が必要と考えており、オートキャンプ場内のペット同伴について県内他市町の公設キャンプ場の状況や利用者のニーズを把握するためのアンケートを行い、ドッグランを活かしたオートキャンプ場運営の検討に取り組みます。</p> <p>令和4年度は、管理棟のトイレの洋式化やオートキャンプ場にWi-Fi設備を整備するなど利用者の利便性の向上を図ったところですが、今後も、既存施設の改修や備品等の更新など(株)日向サンパークに対し、誘客向上に繋がるような様々な支援に取り組みます。</p>										
日向サンパーク株式会社	今後の取組について	<p>昨年度に整備された大型複合遊具施設やユニバーサルエリアには多くの誘客が見込まれ、日向サンパークのPRを進めながら、オートキャンプ場、体育施設の利用者の増員、また、同時に道の駅「日向」への誘客を図り、ここにしかない施設づくりや魅力ある品揃えを進めていきたいと考えています。同時にホームページやSNSを活用した情報発信も強化し、あらゆる客層のニーズに対応した施設運営に努めます。</p> <p>道の駅「日向」については、ふるさと納税の商品の種類を増やし、より魅力ある商品構成を目指します。また、ネット販売等で売上げや収益向上を図り、出荷者協議会と協力してイベントの実施、全国へ地場産品の発信、知名度向上に努めます。その他、全国旅行支援の対象施設に登録クーポン券利用者の誘客を図ります。</p> <p>オートキャンプ場については、施設の予約を電話予約からネット予約に切り替え、スタッフの負担軽減、利用者の利便性向上を図っていきます。また、Wi-Fi設備も整備されたので利便性を発信し誘客に繋げたいと考えています。</p> <p>新たに新設されたドッグランについては、市や利用者の意見を取り入れ、利用しやすい施設づくりに努めます。また外部団体と連携しながら譲渡会やしつけ教室など定期的に開催出来るよう取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>体育施設については、誰もがいつでも利用できるようにレンタルスティックやラケット等を備えて施設利用率向上に努めます。</p>											
		その他特記事項											